



福岡県小郡市大板井1143-1

電話番号 0942-72-7221

FAX 0942-72-7222

# そら

発行人

こぐま福祉会  
「そら」編集委員会



<http://www.koguma.ed.jp>



ゆう・はぐ  
就学お祝い会



令和6年3月28日(木)



以前、こぐま学園の通園（みつばち・かぶとむしグループ）に通われていた片山さんが、令和5年度福岡県児童文集『わたしたちの文集』で優秀賞に選ばれました。  
今回は、その作品をご紹介します。

### 私を救った絵

筑紫野市 原田小学校  
片山 明里

私にはイラストを描くというしゅみがあります。イラストを夢中で書いているときは日常の嫌なことを忘れることができます。母から聞いた話では、二さいくらいいときからえんぴつやクレヨンを持って、絵を描き続けていたようです。私は社会性が低く、人とのコミュニケーションをとっておらず、絵ばかり描き続けていたので、この子に今後友達ができることがあるのかな？と母はずっと心配していたようです。

しかし、母の心配をよそに今、私には、たくさんの友達がいます。それはなぜかを少し考えてみました。私が休み時間にいろいろな絵を描いていると、クラスの誰かが興味をもち、一緒に描いてくれると、絵を通じて友達になれたことが多くあります。自分の好きなイラストをほめてくれたり、まねしてくれたり、私の作ったキャラクターを描いてくれたりしました。そん

な友達がたくさんいたので私ももっと絵を上手に描けるようになりたくて、絵の勉強を必死に頑張りました。今では、それが自分のじまんできるスキルになりました。クラスの新聞係のリーダーとなって、絵を描いてみんなに見てもらえるようにしたり、クラスの旗に絵を描く機会をもらったりしました。

私には、自閉スペクトラムというしょうがいがあり、学校の人の多さ、にぎやかさ、集団行動のむずかしさなどがあり、学校生活はとても辛いものです。しょうがいがある人の苦しさはまるで、海の中にずっともぐっているような息ぐるしさであるという例えがあります。しかし、絵を描くことが私を救ってくれたのです。

私にとって絵を描くことは、海の中でも息ができる酸素ボンベのようなものです。陸よりは呼吸は苦しいですが、酸素ボンベがあることによりなんと泳ぐことができているのです。じつさいの学校生活も絵を描くことにより、休みつつ学校に行くことができているんです。そんな学校の学習の中で、いちばん好きなのは、図工の時間です。図工がある日は、つかれていても何がなんでも行きたいと思います。がんばって行っていきます。絵を通じてできた友達が私を助けてくれることもあり、絵を描くということは、二つの意味で私を救ってくれているのです。

こぐまLINE

保育士 高倉 望

皆さんこんにちは。児童発達支援センターゆうで保育士をしています高倉と申します。昨年結婚し、諸江から高倉になりました。

このような機会を頂いたので、高校時代の恩師に貰った言葉をお話できればと思います。

高校時代レスリングというスポーツに出会いました。始めたころは練習についていくので必死で出来ないからやらないと自分で限界の壁を作っていました。そんな時恩師は「やってみよう、夢チャレンジ」と時間をかけても最後までやり遂げることを教えてくださいました。たった一言の言葉ですが、私の中の限界の壁が崩れ、今でも何事にもやってみようと前向きな考えをすることができているように思います。

私は特別支援学校で働く母に憧れを持ち、保育士になりました。子どもだけではなく、保護者に寄り添い一緒に子どもの成長を見守ることができるとこぐま学園に魅力を感じ、入職しました。入職して3年たった今でも、子どもたちと関わる中で子どもの「できた」を保護者の皆さんと一緒に共感できること嬉しく思います。未熟な私ですが、皆さんの力になりたいと思いますので今後ともよろしくお願い致します。

### 「地域を作る」とは？



平成24年の児童福祉法改正により、児童発達支援センター（事業）、放課後等デイサービス事業、相談支援事業など新しい事業が創設され、子ども達のサポート体制は大きく変わりました。発達に課題のある子ども達に対して、「発達支援」「家族支援」「地域支援」の三本柱が明記されました。

法改正以降、10年以上が経過し、様々な課題が出ている中、令和6年4月より、児童発達支援センターの役割が明確化されました。地域の中で子ども達が必要な時期に必要な支援を受ける事ができるように「支援体制」を作っていく必要があります。

こぐま福祉会も地域の中の「センター」として、①より質の高い専門的支援 ②地域の事業所に対するスーパバイズ ③保育所・学校へのつなぎの支援 ④気になる段階からの子育て支援など、様々な役割を求められています。現在、既に行っている部分、まだ不十分な部分など整理した上で、地域の自治体と協力しながら、子ども達が安心、安全に過ごしていけるような「地域づくり」を行っていききたいと思います。（はぐ園長 木下義博）



# 就学おめでとう!!



**ゆうとさん**  
みんな  
大好きだよ!



**ことねさん**  
こぐまだいすき♡  
ありがとう♡



**おねほるさん**  
たくさんのお好きに  
出会おうね



**みなとさん**  
元気で学校に  
通いたいな!



**さくさん**  
たのしかった!!  
ありがとう



**ゆうとさん**  
小学校に行っても  
砂遊びするぞ!



**りんさん**  
たくさん  
あそんでくれて  
ありがとう



**はるとさん**  
小学校も  
楽しくあそぶぞ!



**とうじさん**  
小学校も元気に  
頑張ってるぞ☆



**しゅんさん**  
小学校でもいっぱい  
頑張るぞ!



**なおふみさん**  
大好きなこぐまありがとう!



**なつきさん**  
毎日たのしかったよ!  
ありがとう



**はるとさん**  
小学校も楽しむぞ!

### Smile Work いちご作業

就労継続支援B型事業 Smile Workは、10月～5月の期間、小郡市の「いただきますいちご園」さんで施設外就労に取り組んでいます。

内容は、苗の植え付けから管理箱折りやシール貼りと幅広く作業しています。作業環境も整っておりいちご狩りでは、車椅子利用の方でも体験可能な高さです。

ご興味がある方は、いただきますいちご園を探索してみてください。

(支援員 未安)



### 報酬改定について

#### お知らせ

令和6年4月より、『診療報酬』『障害福祉サービス報酬』の改定が行われました。これに伴い、利用者様のご負担金額が変わることがございます。ご不明な点に関しましては、受付窓口までお問い合わせください。

また、健康保険証(月1回)および受給者証(更新・変更時)の確認をさせていただきます。皆さまのご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(事務部 宇野)

### 新入職員紹介

今年もこぐまに新しい仲間が加わりました!



原岡 愛歌 (看護師)



大野 華子 (作業療法士)



荒木 雄真 (作業療法士)



羽野 瑠花 (言語聴覚士)



柄本 亜紀子 (支援員・児童指導員)



平田 泉 (送迎運転手)



渡辺 真司 (送迎運転手)



前川 貢 (送迎運転手)



久保 勝治 (送迎添乗員)



石川 幸子 (送迎添乗員)



大熊 真弓 (送迎添乗員)

これから  
よろしくお願  
いします😊



### 退職者のご報告

- 塩永 淳子 (医師)
- 山口 愛華 (理学療法士)
- 中村 祐樹 (理学療法士)
- 山本 未来 (作業療法士)
- 山口 務 (生活支援員・サビ管)
- 古賀 優 (保育士)
- 窪山 有紀 (児童指導員)
- 大橋 美由紀 (相談支援専門員)
- 吉原 千尋 (運転営繕)

### ご寄付報告

- 「団体」○MPS株式会社様
- 久留米天使こども園様
- 「個人」○佐々木 忠孝様
- 中山 景子様
- 田原 孝様
- 河野 徹様

(順不同)

ありがとう  
ございました



### 行事予定

#### 5月

1日(水) こぐま学園創立記念日

13日(月) ゆう親子遠足

(みつばち・ほたる)

14日(火) はぐ親子遠足

17日(金) ゆう親子遠足

(かぶとむし・くわがた・ぱった)

21日(火) 避難訓練

#### 6月

26日(水) 避難訓練

#### 7月

25日(木) 避難訓練

31日(火) 職員研修のため休園